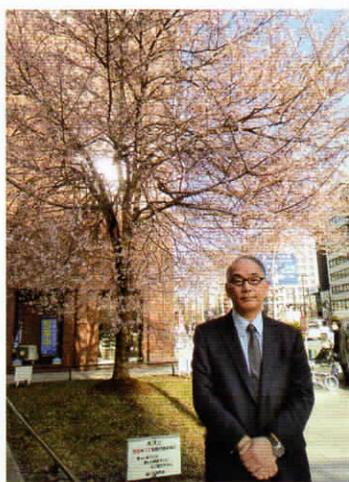




## 新型コロナ雑感

ふるさと五城目会 二十六期

石井 幸一郎(寺庭出身)



状況に背に腹は代えられず、リモート会議だのテレワークだのといった今はやりの仕事の仕方にもようやくいくらかは慣れてきたかなというところでしょうか。

仙台の会社を六十才の定年で退職し、東京・神田に本社を置く発電会社に再就職をしたのが四年前。長い会社生活ももうそろそろかな、と思っていた矢先に発生したのが新型コロナウィルスの問題でした。

インフラ関連の企業ですので、感染防止対策や事業継続計画(BCP)などは徹底しており、幸いにもこれまでのところ社内では一人の感染者も出しておりません。これも全ての関係者の方々のご努力の賜物であり、本当に有り難いことと思っております。

私個人の状況はといいますと、何とも膝突き合わせて話せばわかるというのが信条のアナログ人間ではありますが、いわき市の発電所への出張も儘ならない

もつとも、腹を割って話すには、やはり神田駅西口辺りのゴチャゴチャした安い立ち飲み屋での一杯に勝るものはないわけですが、こればかりはこのご時世では諦めるしかありません。なんとも寂しい限りです。

遥か昔の若いころ、大学入学で上京したものの大都会が肌に合わず、仙台にJターンした身が、サラリーマン人生の最終盤になって再び、日々雑多な人々が行き交う東京に舞い戻り、しかも世界的パンデミックの渦中にあるという、妙な巡り合わせではあります。これも人生の彩りの一コマかな、などこのんきに構えて過ごしているこの頃であります。

## 新たな時代への変化を

ふるさと五城目会 三十四期

齊藤 大蔵(岡本出身)



三十五年間勤務した神奈川の会社を定年扱いで退職し、秋田に軸足をおき二年が経過しました。私が所属している会社は湯沢市にあり、言わずと知れた秋田の中で豪雪地帯です。一年目の冬は積雪量が少なかつたのですが、今年の冬は大雪の中で生活しました。

あまりにも大量な雪は生活に支障をきたしますが、仕事帰りにスキューターに着替えて一本滑る秋田ならではの夢も叶い、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

さて、新型コロナウィルスの猛威がまだに続いているのが現実ですが、都道府県の感染者数を人口密度で整理すると、概ね比例関係があることが分かります。この意味するところは、基本的な感染対策が密閉、密集、密接であることから推察されます。ちなみに神奈川の人口密度は一平方キロメートルあたり

約三七〇〇人、秋田は約九十人でオーダーが異なります。この値から人と人の距離が割り出せます。なかなか感染現象が収束しない理由は種々あると思われるのですが、その影響で首都圏への出張業務はオンラインで済ませることが当たり前になり、今までの移動時間が価値ある時間に充てることが出来ている側面があります。大きな視点で見れば、ワーケーションや定められた時間に縛られない働き方改革になっているかと考えます。

このように世の中が大きく変わっている状況において、何事もこれまでの概念に縛られない変化するチャンスかと思えます。地方は中央と大きく異なりますので、その特権を生かした大きな変化を期待しています。



## ふるさと五城目会

金子 子あや

(二十六期・紀久栄町出身)

家族の介護を九年しています。コロナ禍により楽しみにしていたふるさと会の総会や千代田区さくらまつり等、様々な行事が中止になり寂しいです。

今までは、ふるさと会の仲間、五城目に帰ると親戚、近所の人、友達、同級生、朝市で出会う人達から五城目の元気なエキスをいっぱいもらっていました。

今は自粛生活で五城目のエキスも薄れてきています。このままでは年を取っていくばかりですね。五城目町の人口や朝市等も気になります。沢山の人が早くワクチンの接種が出来ると思いますね。

皆さんに会える日が来ますようにお願いながら頑張っています。

## ふるさと五城目会

千葉 富美子

(二十六期・畑町出身)

新型コロナ感染がこんなに続くと思いませんでした。いつもコロナに感染するか心配で何処へも出られず、家ではテレビと会話をしながら、歌番組ではカラオケ気分です。早く皆様方にお会い出来る事を願っております。